

特別養護老人ホームにおける介助活動

参加少年 保護観察対象少年 2 名 (男女 1 名) , 保護観察官 2 名
実施主体 保護観察所

活動までの流れ

元 B B S 会員が事務局長をしているということで、B B S 会員から紹介を受けた施設で、おおむね月 1 回のペースで実施している。

実施施設との申し合わせ事項

- (1) 参加少年のプライバシーに配慮し、施設の幹部以外には、参加少年が保護観察対象者であることを知らせない。
- (2) 参加人数に特に制限はないが、事前に人数を知らせること。
- (3) 参加少年は、動きやすい服装で参加すること。施設内で携帯電話を使用しないこと。

当日の活動内容

- 9 : 0 0 保護観察所に集合。タクシーで施設に向かう。
- 9 : 4 0 施設に到着。施設職員から、施設の概要について説明を受ける。
- 1 0 : 1 0 活動開始。クラブ活動の折り紙教室の手伝いをする。1 0 人ほどの入所者が参加する折り紙教室で、特に手先が不自由な入所者の補助をする。
- 1 0 : 4 0 施設内見学。見学途中で、車椅子介助の練習。車椅子に乗ってみて、車椅子に乗って押される感じを体験してもらう。
- 1 1 : 0 0 中庭の除草作業。
- 1 2 : 0 0 施設職員とともに昼食。
- 1 3 : 0 0 各居室を巡回。保護観察官と対象少年がペアで巡回し、入所者と会話した。
- 1 4 : 0 0 慰問演奏会のため、入所者を居室からホールまで誘導する介助を行う。
- 1 5 : 0 0 施設職員を交えての反省会。

参加少年の感想

- ★自分と同じくらいの若い女の職員の方が、一人で2台の車椅子のお年寄りを軽々と押して歩いていたので、すごいと思いました。
- ★体の不自由な人たちの生活を見たり、自分が車いすに乗せてもらったりして、健康な体がある自分は幸せだと思いました。私は、今までシンナーや覚せい剤で自分の体を傷付けていたけど、自分の体だから他人に迷惑かけてないからって気持ちでいたけど、その考えが間違っていた。

公園の清掃活動

参加少年 保護観察対象少年 10名(男子8名,女子2名),保護観察官2名,保護司21名,更生保護女性会10名,BBS会員10名
実施主体 保護観察所,地区保護司会

活動までの流れ

当保護観察所管内においては,各保護司会が地元での社会参加活動を担当することとなり,本活動については,地元保護司会が,市心身障害者育成会が市から委託を受けて実施している公園清掃活動に協力する形で実施している。

実施頻度は,年1回である。

実施に当たっての留意事項

- (1) 更生保護ボランティアは,参加少年の秘密保持に十分に注意すること。
- (2) 対象者の引率は,原則として担当保護司が行うこと。

当日の活動内容

- 9:30 関係者集合,準備
- 10:00 参加少年集合,オリエンテーション
- 10:10 清掃作業開始。広場の落ち葉を箒で掃き,収集する作業が主。BBS会員が積極的に参加少年に話しかけるなど,和気藹々と実施された。
- 12:00 公園近隣の集会所にて昼食。昼食は,更生保護女性会が調理した豚汁とおにぎりをいただく。
- 13:00 隣接する更生保護施設の中庭でミニバスケットのレクリエーション
- 13:30 反省会(感想文作成)
- 14:00 解散

参加少年の感想

- ★自然をきれいになると,自分もなんかすごいたっせいかんをかんじれて,とてもいいけんをしたと心から強くかんじました。(もう一度参加するとすれば,どのような活動が良いか?)なんでもやります。
- ★昔はゴミを捨てる側だったけど,この清掃活動をして清掃が大変なのがよくわかりました。(もう一度参加するとすれば,どのような活動が良いか?)人の役に立つ仕事がしたいです。
- ★楽しかった~。最初わたいぎかったけど,楽しくなってきたけえ~ね。ちこくして行ったけど,まあ楽しくそうじできたよ。しかも,豚汁とおむすび最高においしかったさ~。
- ★たいぎかったけど,きれいになった。あとイイ人ばっかあったけん楽しかった。あと,めしがめちゃうまかった。
(原文のとおり)